

●三位一体後第三主日

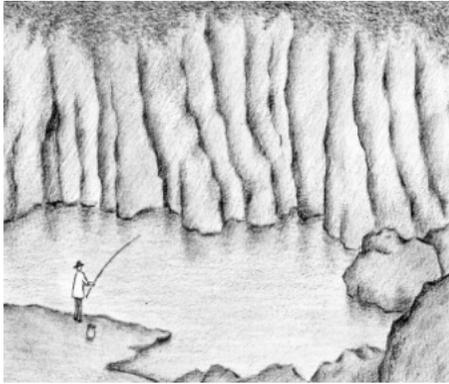
泉のほとり

今月の詩編「第百十一編」

主を畏れることは知恵の初め。

これを行う人はすぐれた思慮を得る。

主の賛美は永遠に続く。



話すのに遅く、怒るのに遅く

「試練」という言葉は、試み、誘惑とも訳される言葉です。ヤコブが試練を耐え忍ぶ人は幸いと教えつつ、しかし、この試練のときを「誰も神に試みられていると言つてはならない」と告げました。人が試練を伴う誘惑や試みにあい、また誘惑に陥るのは「人がそれぞれ、欲に引かれ、唆されるからだ」とも告げ、あらゆる試練の中、何よりも人は自身の内側に目を向けるようにと教えました。

ヤコブは「天の父が御心のままに、真理の言葉によつて私たちを生んでくださいました」と語ります。「生んだ」というのは「だから完全になつた」という意味ではありません。様々な試練にあり、忍耐の時を通して、欠けたところのない、完全なものになつていくことが言われているのです。それゆえになお「誰でも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい」と教えます。

使徒ペテロは「不当な苦しみを受けることがあつても、神のお望みだとわきまえない」と語られました。人は不当な苦しみにあうと、話し怒ることが多いのです。試練にあう時、この上ない喜びと思ひなさい。お咎め立てしない神に知恵を願ひなさいと言われましたが、試練にあうと喜ぶより、神からの知恵を聞くより、嘆き、つぶやき、不平、怒りのことばを発することが多いのです。人は自分の義、正しさに心の目が塞がれ、不当な事柄の只中にもある「神の義」を見ないのです。それゆえでしょうか。ヤコブは「人の怒りは神の義を實現しないからです」と付言しているのです。

次にヤコブは「だから、あらゆる汚れやあふれるほどの悪を素直に捨て去り、心に植え付けられた御言葉を受け入れなさい」と教えています。「あらゆる汚れや悪」は、「御言葉を受け入れる」こととは、共存できないものです。例えば「迫害する人のために祈りなさい」という御言葉は、恨みが抱かず、心から相手のために祈ることを意味します。恨みが取り去られてこそ、憐れむ心が宿るのです。しかし、迫害という試練にあうとき、恨みに気づかされたら、お咎め立てされない神に願ひなさいと言われた御言葉に頼り、願う。その人に、神は恨みを取り除き、新しい心を宿してくださいらないでしょうか。

試練や苦難がなければ「忍耐」という神からの賜物をどう受けられるでしょうか。「なぜこのような屈辱を受けねばならないのか」と自分の義に従ひ、話すこと、怒ることを急ぐ心は、キリストのことばを聞けず、忍耐という賜物にも与れないのです。そして、忍耐なくして、人を愛することはできず、迫害する人のために祈り、執りなすこともできないのです。と共に、人は試練という忍耐の時、話すのに、怒るのに遅くする時、いかに自分は神のことばではなく、自分の言葉に満ち、それに従つて生きているものなのかと気付かされるのです。しかし、お咎め立てしない神は忍耐の中、話すのに怒るのに遅く、御言葉に照らし聞く者の願ひに答え、御言葉をその人のうちに実現してくださいらないことはないのです。

ヤコブは最後に教えます。「あらゆる汚れやあふれるほどの悪を素直に捨て去り、植えられた御言葉を受け入れなさい。その御言葉は、あなたがたのたましいを救うことができます」と。「たましいの救い」が得られると。聞くのに早く、話すのに怒るのに遅くする理由は、究極的には「あなたがたのたましいを救う」ためということでした。たましいの救いのため人間がなせることはありません。聞くのに早く、話すのに、怒るのに遅くする。あらゆる境遇、時に、既に聞き、心に植えられた御言葉を受け入れることです。そして、ご一緒に記憶したのです。キリストによる救いは、あらゆる汚れや肉の業からの救いを伴うものであることを。

試練のない人生はありません。自分自身が試みられる時は、思わぬ時に、常に訪れます。聞くのに早く、話すのに、怒るのに遅くしましょう。私たちに既に語られ、植えられた十字架のことばを聞いていきましよう。聞く耳を持つて歩みましよう。上からの神の賜物がいかに人のたましいを救い、自由にし、救ひの喜びへ導くものか、生ける証人として力ある証しに生きていきたいと願ひます。

(ヤコブ一章一六―二二節黄允湜牧師)

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 信仰者たちに学ぶ会はお休みです。

○ 運営委員会は行いませんが、礼拝伝道委員会と教育奉仕委員会は予定通り行います。

○ 本日、吉村和雄名誉牧師は西条伝道所で奉仕のため不在です。

○ 附属幼稚園の奥多摩キャンプが八日(火)〜九日(水)に行われます。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会は休会です。

《教育奉仕委員会より》

次週は諸聖徒記念礼拝です。主日礼拝後、一二時より地下ホールで交わりの会をいたします。コーヒーと茶菓を一〇〇円で販売いたします。

お時間のある方はお集まりください。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・念〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇百十一篇】

ハレルヤ。

わたしは心を尽くして主に感謝をささげる

正しい人々の集い、会衆の中で。

主の御業は大きく

それを愛する人は皆、それを尋ね求める。

主の成し遂げられることは栄え輝き

恵みの御業は永遠に続く。

主は驚くべき御業を記念するよう定められた。

主は恵み深く憐れみに富み

主を畏れる人に糧を与え

契約をどこしえに御心に留め

御業の力を御自分の民に示し

諸国の嗣業を御自分の民にお与えになる。

御手の業はまことの裁き

主の命令はすべて真実

世々限りなく堅固に

まことをもって、まっすぐに行われる。

主は御自分の民に贖いを送り

契約をどこしえのものと定められた。

御名は畏れ敬うべき聖なる御名。

(司・念)

主を畏れることは知恵の初め。

これを行う人はすぐれた思慮を得る。

主の賛美は永遠に続く。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「主イエスを探し求めて」

聖書 使徒8章26〜35節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「パウロを捕らえた主イエス」

聖書 使徒9章1〜9節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讚美歌 12番 270番

説教 「神と共に歩んだので」

聖書 創世記5章1〜24節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 76番 339番
説教 「御言葉を行う人になりなさい」
聖書 ヤコブ1章22～27節(新約P.422)
司式 石川一兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「み声きくとて」J.S.バッハ

○讃美歌76番

1. ほめまつれ御神をば そのわざに秘めたもう
またき力 またき知恵 たたえまつれ もろびとよ
2. 地は空をわたりつつ くにぐにを乗せめぐり
つとめの目をあおがしめ いこいの夜をむかえしむ
3. ものみなはとどまらず はてしなき移ろいや
みことのりにしたがいて 山はうつり 海も消ゆ
4. おおいなり天つかみ み名にのみほまれあり
くすしきかな御手のわざ こえのかぎりほめうたわん

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「バビロンの流れに」 G.P.ダ・パレストリーナ作曲
流れゆくバビロンのほとりに
我ら座し
涙流して泣けり
はるか思いをシオンに馳せ
琴を柳の木にかけ
我ら涙流し泣けり

○讃美歌339番

1. 君なるイエスよ けがれし我を
洗いきよめて めぐみを賜え
わが日わが時 わがもの皆は
今よりとわに 君のものなり
2. わが手は君の み業をならい
われの歩みは み跡をふみて
いそしみ進み 主の御力に
常にたよりにて 強からしめよ
3. われの舌をば すくいの主の
恵みをうたう 器となして
わが口唇に よき音ずれを
溢るるばかり 満しめたまえ
4. 黄金、しろがね 知恵も力も
献げまつれば みな取り用い
我のころを 宝座となして
み旨のままに 治めたまえや

アーメン

聖餐曲「み言葉にて我らを養いたまえ」J.G.ヴァルター

後奏曲「ピスガ」D.ワッド